

地域創生プロジェクト

「プロフェッショナルズ・ワークショップ」

早稲田大学・ANA総合研究所・対象自治体が共同で取り組む地域創生プロジェクト「プロフェッショナルズ・ワークショップ」。11年目を迎えた昨年は、面接選考を経て選ばれた10人の早稲田大学の学生が2つのチームに分かれ、「ワカモノらしい自由な発想」「ヨソモノとしての斬新な視点」から調査研究を行いました。



現状分析・課題抽出

プロフェッショナルズ・ワークショップのテーマが「大分市の魅力創造」であることから、大分市が持つ既存の魅力を現地調査前に調べました。世界的なスポーツイベントを控えた大分市の現状を分析し、「どうすれば外国人旅行者に喜んでもらえるか」「リピーターに定着してもらうにはどんな取り組みが必要か」などを考えました。

現地調査

大分大学で「地域ブランディング」に取り組む学生との意見交流会では、違った環境で学ぶ学生たちが交流することで「いい刺激になった」との声もあがりました。また、ラグビーワールドカップが行われる大分スポーツ公園総合競技場や観光名所に加え、市民があまり行かない場所を訪れたり、郷土料理を作ったりすることで、「若者の視点」から大分市の魅力を探し出しました。



両大学の学生たち

最終発表会

おんせん チーム On1000 「HOTプロジェクト」

ラグビーワールドカップで海外から訪れた観光客へ「期待を超えた出会い」を提供する「HOT(H話したくなる・O思い出・Tつくろう)プロジェクト」を考案。市民が協力し、市を挙げておもてなしを行い、苦労や感動を共有することで絆を深め、観光客が自国に帰っても話したくなる思い出づくりに取り組むことが、大分市への誘致につながると発表しました。

ダイブ チーム DIVE! 「ケレケレ作戦」

ラグビーワールドカップで訪れるフィジーの人たちをターゲットに絞った「ケレケレ(助け合い)作戦」を考案。大分市は公認チームキャンプ地となり、フィジー代表チームは大分スポーツ公園総合競技場で戦います。フィジーの人たちがラグビーワールドカップを機に市民との交流を深めていくことで、大分市を第二のホームにしたいという思いを伝えました。



最終発表会后に、今回の調査研究をまとめた報告書を市に提出しました

大学との連携で、ワカモノが地方創生について考える。

市では、県内の大学等(大分大学、県立芸術文化短期大学、日本文理大学、大分工業高等専門学校、県立看護科学大学、立命館アジア太平洋大学、別府大学)との包括連携協定に基づき、地域が抱える課題の解決や県内で活躍する優秀な人材の確保などの幅広い分野で協力しています。

また、大学・企業・行政が連携して、地方創生を担う人材の育成に必要な教育カリキュラムの実現や、地域産業の振興に取り組んでいます。昨年6月には、早稲田大学とANA総合研究所の連携事業である「プロフェッショナルズ・ワークショップ」の対象自治体が大分市が選ばれ、首都圏に住む学生が大分市の現状分析、フィールドワークなどを若者の視点から行いました。



企画課 ☎537-5603

大学・企業・自治体の連携が、地域で活躍する人材を育てる

大分大学COC+推進機構 推進コーディネーター 和田 智雄さん

大分について理解を深め、地域で活躍できる教育プログラムを開発することで、県内に優秀な若者が残り、活躍できるような環境づくりに取り組んでいます。COC+〈地(知)の拠点大学による地方創生推進事業〉の一環として行っている「地域ブランディング」では、県内企業や自治体に課題を与えてもらい、学生が地域に入り込んでフィールドワークや解決策の企画提案を行っています。学生たちにとって、自分を見直す機会や、将来のことを考えるきっかけになっているようです。

COC+の取り組みは、大分大学だけでなく他の大学とも連携して行っています。大学・企業・自治体が、若者の人材育成や課題解決に向け、いろいろな組み合わせでこの活動に取り組めたらいいと思います。



INTERVIEW

課題解決だけでなく、地域資源をどう生かすかも大切

ANA総合研究所 植村 憲一郎さん

早稲田大学とANA総合研究所が連携して行っている「プロフェッショナルズ・ワークショップ」の取り組みでは、自治体が解決したい課題について、早稲田大学の学生が現地を訪れ、調査・分析を行っています。大分市ではラグビーワールドカップ2019™日本大会を控えて、インバウンド観光の推進や観光客のリピーター確保・定着が求められています。

他県在住の若い学生が地域に入る際、自治体からの情報提供や案内が不可欠です。学生が「定番」の地域資源以外にも興味を持つことがあるので、自治体の職員からは「新しい発見があった」などの声を寄せられることもあります。

今回のワークショップの中で市民の方にお話を聞くと、ワールドカップにむけてチャレンジをしようとしている人がたくさんいることを感じました。大分市は経済・産業構造がしっかりした中核都市なので、新しいことに挑戦できる基盤がある。抱える課題があるかもしれませんが、「将来どう発展させるか」を考えることも大切だと思います。

